

# sinrei 榛黎

群馬県立農林大学校

〒370-3105

群馬県高崎市箕郷町西明屋 1005

TEL: 027-371-3244

FAX: 027-371-6968

<http://www.gunma-iaf.ac.jp>



花き・果樹コース実習



夢の農業へ、一歩「前へ」

校長 樋口 努

学生の皆さんは、農業の将来にどんな展望を抱いていますか。農業界では昨今、農業者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増大、TPPによる影響等、その環境の厳しさが語られています。一方で、他の業界からは農業ほど「伸びしろ」が大きい産業はない、生産だけでなく流通、販売にまで広がっていけば限らない可能性がある、まさに成長産業として熱い視線が注がれています。

こうした悲観と楽観が交錯する中で大切なのは、現状をしっかりと把握し、自分の目で見、自分の頭で考えて行動に移すことです。

昨年の農林業センサスでは、五年前に比べ販売農家数は約二割減少していますが、一戸当たりの経営面積や法人経営数、そして販売額三千万円以上の経営体は着実に増加しています。本県でも全国規模で展開する生産者、加工や販売まで手がける意欲あふれる生産者が急速に増えています。

今年三月、本校に嬉しい知らせがありました。卒業生の堀越徹也さん（前橋市）が、作業環境の改善による雇用の促進と施設の自動化で「堀越モデル」と言われる、高収量・高品質の施設キュウリの大規模経営を実現し、四十三歳の若さで日本農業賞の大賞を受賞されたのです。

これまでの農業とは違う、新しいカタチの農業が動き出しています。農業はまさに転換期にあります。担い手が減少している今こそ、ピンチをチャンスに変えられる時なのです。

今、大切なことは、農林大でスキルを学び、仲間と切磋琢磨し、そのための土台をしっかりと築いていくことです。自分が描く夢の農業のカタチへ、まずは一歩、「前へ」です。



農林大に入校して〜一年生〜

入校から三ヶ月、新たに友人もでき学校生活をエンジョイしている学生に、色々聞いてみました。

- 質問①出身校は？
- 質問②農林大に入校した理由は？
- 質問③どんなコースですか？
- 質問④一番楽しかったことは？
- 質問⑤ビックリしたことは？
- 質問⑥午後の実習が終わった後、どう過ごしていますか？
- 質問⑦寮生活はどうですか？
- 質問⑧将来の夢は？



野菜コース

佐藤 日向

①勢多農林高校です。②野菜について学びたかったからです。特に、施設栽培について学びたいと思っていたので農林大学校に入学しました。③コースは明るい人、と言うかうるさい人が多いです。先輩はみんな面白くて優しいです。実習は大変だと思うこともありますが楽しいです。④楽

しかったことは色々あります。農林大は寮生活なので毎日友達と過ごせます。一番楽しかったことというよりも毎日が楽しいです。⑤榛名登山が予想以上にキツかったことです。⑥体育館で運動していることが多いです。⑦慣れるまでは疲れるし色々大変ですが、慣れるとなかなか楽しいです。⑧将来はイチゴの栽培をして最終的には観光農園にしたいと考えています。



花き・果樹コース

湯浅 和樹

①前橋育英高校です。②実家で花を作っていて継ぎたいと思ったからです。③個性豊かです。先輩との連帯感が保たれているコースです。④榛名登山で頑張った走って入賞したことです。⑤経営当番等があり、朝早起きしないといけないことです。⑥同部屋の学生と学校生活や将来について話しています。⑦最初は慣れなかったですが、最近は友達が増えて楽しくなってきました。⑧家業を継ぐので、農林大学校でより多くのことを学び、今より品質の高い花き

生産と規模拡大を目指したいです。



酪農肉牛コース

萩原 郁弥

①富岡実業高校です。②牛に興味があつたからです。③仲が良く、笑いの絶えないコースです。④今のところ榛名登山です。⑤寮生活が思っていたよりも楽しいです。⑥友達と遊んだり、ゴロゴロしています。⑦慣れてきて、毎日楽しく過ごせています。⑧具体的には決まっていますが、畜産関係の仕事に就きたいと思っています。



農業コース

藤澤 望

①勢多農林高校です。②県の農政部に就職することを目標としているため、農林大で学ぶ道を選択しました。③幅広く知識を身につけられ、就職に役立つ資格も多く学べるコースです。④榛名登山の道中で多く

の人と話しながら走れたことです。⑤様々な経験が積めるので、想像以上に内容の濃い生活が送れることに驚きました。⑥体育館で体を動かして、九時頃から寝るまでは資格や就職に向けた勉強をしています。⑦人が多くて暇にならないので、充実しています。⑧県の農政部で就農支援等の仕事をすることです。



森林・環境コース

山本 玄

①健大高崎高校です。②知識だけでなく、技術も身につけたバランスのとれた社会人となるためです。③専門的な知識、技術を多く学べ、様々な作業を通して基礎的な体力や筋力が身につくと感じるコースです。④家族以外と過ごす寮体験が様々な刺激となり楽しいです。⑤専攻以外の教科を受講することが多いことです。⑥授業の復習や弱点科目の克服、公務員関係情報の収集に努めています。⑦心底嫌だと思っていました。⑧生活リズムが整い、友達と過ごすことが心地良く



なりました。⑧自己を高められる場に身を置き、その能力を活かし林業の魅力を世間に広く知らしめたいです。

社会人コース

塚越 裕作



①関西大学です。  
②祖父母が行っている農業を継ぐにあたり、農業について基礎から学ぶこと、農業に関わる多くの方々との人脈を作っていた

きたいと考えました。③元気な学生が多い楽しいコースです。④若い学生との世間話です。⑤大学と違い、全ての授業で席が決まっていることです。⑥たまに若い学生たちと野球をしたり、ドライブに行ったりしています。⑦通学生です。⑧まずは、自信を持って食べて頂ける野菜を作れるようになることです。その後、規模を拡大し地域の活性化に繋がる農家になることが将来の夢です。

資格取得を目指して!

本校では、就農や就職時に即戦

力となって働けるよう資格取得を推奨しています。

昨年度は、毒物劇物取扱者をはじめ小型建機等二十一種に及び多種多様な資格の中から自分に必要な資格を精査し、多くの学生がスキルアップに取り組んできました。



今年度も資格試験等の日程と合わせ講義または補習等実施しながら取得に向けたサポートをしていく予定です。

卒業生の進路状況及び進路対策

平成二十七年度も進路決定率、就職内定率について共に約100%となりました。これも学生自らが早期に進路に対する意識を持ち、学校でも様々な進路対策を実施してきた結果です。

具体的には、一年次から進路ガイダンスやキャリアデザインを通して一分間スピーチなどコミュニケーション・プレゼン能力の向上を図るなど進路希望実現の土台作

りを行い、二年次では進路別指導として、就職希望学生には営農計画の作成を中心に篤農家や先輩方からの話を聞くなどし、就農に向けた意識の醸成を図っています。また、就職希望学生に対しては、面接指導を中心に小論文指導、学

内企業説明会など進路対策を行っています。

年度別卒業生の進路状況 (単位:人)

	H25	H26	H27
卒業生	72	72	75
自営・雇用就農・研修後就農	28	29	31
農林業関係団体(JA等)	10	9	16
民間企業(農林業関係)	15	16	13
民間企業(非農林業関係)	10	9	5
公務員	6	4	3
進学(四年制大学への編入)	3	2	6
未定	0	3	1

学生全員が力強く社会に踏み出せるよう関係者のご協力とご家庭の皆様のご支援をお願いいたします。

伝統の榛名登山大会

第三十三回榛名登山大会が五月十九日、学校から榛名湖畔までの十三km(標高差九百m)で行われ、学生と職員、ぐんま農業実践学校研修生合わせて百七十人が持久力を競いました。

当日は晴天で暑い中、男子は野菜



コース二年小林友幸くんが一時間十八分四十二秒で優勝し、女子は農業コース二年星絵里香さんが一時間四十七分五十八秒で優勝しました。

【上位入賞者】

- 男子の部
  - 優勝 野菜コース二年小林友幸
  - 第二位 野菜コース一年曾根笙太
  - 第三位 野菜コース二年黒澤勇氣
- 女子の部
  - 優勝 農業コース二年星絵里香
  - 第二位 農業コース一年桐生めぐみ
  - 第三位 酪肉コース二年須田帆南



野菜の即売会  
販売学習の取り組み

五月七日、「花と野菜の即売会」を開催しました。即売会は、販売学習と地域とのつながりを深めることを目的に毎年実施しています。用意した野菜や切り花等の販売物はほとんど売切ることができました。販売を担当した学生は、お客様との会話と自分たちが生産した花や野菜を買ってもらった喜び(感謝)を感じていました。



今後も地域のイベン ト(青空マルシェ・箕輪城まつり・こんにやく祭り)や「イオン高崎店」での販売を通して、地域の皆様に農林大を知っていただくとともに、販売学習に取り組む計画です。

課題研究に取り組んで!

現在二年生は、卒業論文のため

の課題研究として、各自テーマを決めて実験・調査等に取り組んでいます。



花き・果樹コースの大城さんは、先輩の研究課題を引き継ぎつつ新たな視点で「コーヒー殻培土によるわい性花壇苗の検討」に取り組んでいます。

大城さんは就職活動においても農林大での自分の活動として紹介できる非常に貴重な活動と話しています。

今後、校内での二回の間検討会で内容を煮詰め十一月の校内発表会で二年生全員が発表します。校内発表会で選ばれた代表者が、十二月九日に群馬会館で開催する代表課題研究発表会に臨みます。代表発表



農と食のふれあい講座  
(公開講座)

本校では、県民が広く農林業に親しみ、農林大学校に対する理解を深めてもらうことを目的に、「農と食のふれあい講座(公開講座)」を実施しており、「農」と「食」をテーマとした十七の講座を開催しています。



これらこの講座では、庭木の管理、家庭菜園、花壇苗づくり、家庭果樹のせん定などの技術をやさしく講義するとともに、本県の粉食文化の中で伝統的に食べられてきたうどん、おきりこみ、まんじゅう、おやきなどのつくり方を広く伝えていきます。

平成二十八年後援会役員と  
事業内容について

今年度役員は次の方々です。

- 会長 白石義行(酪肉二・結城)
- 副会長 齊藤正夫(農業一・太一)
- 監事 小林恵一(野菜二・友幸)
- 監事 桑原千加子(酪肉一・将)

今年度後援会事業は、総会・役員会の開催、各種事業への経費助成、卒業生への記念品贈呈、学生に関する校内施設の整備・オープンキャンパスや特別講演会へのサポート等で、本校並びに学生を支援して頂いています。

今後の予定

- オープンキャンパス
  - ・ 七月二十七日(水)
  - ・ 八月三日(水)・十日(水)
  - ・ 九月三日(土)
- 四県親善スポーツ大会
  - 十月十二日(水)
- 榛の木祭
  - 十一月十二日(土)・十三日(日)